

(別添資料1)

事業所名

ハーツきつぷ清水放課後等デイサービス

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和7

年

4月

1日

法人（事業所）理念		「放課後からはじまる社会生活への第一歩」～未来へ飛び立つ日のために～								
支援方針		支援が必要とされる子どもたちひとりひとりに対し、今、何が必要かを考えながら主体的に日常生活における基本的動作及び知識・技能を取得し、集団活動に適応できるよう支援します。また、生活力向上のために創作活動、体力づくり、余暇活動等の必要な経験ができるような環境を提供し、地域・社会と交流を図れるように支援します。								
営業時間		9時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・利用の際の健康状態の確認・経過観察を行ないます。 ・生活スキルを取得のために、たくさんの選択肢から選べるよう自己決定ができるように支援します。 【例】朝の会での心身の把握、衣服や身だしなみの確認。生活リズム（排泄パターン等）の把握。日々のスケジュールの中の行動を自分で決める。やる気・できる・できたを支援し、認め合う等								
	運動・感覚	・さまざまな遊び～生活を通して笑顔や個性・強みを伸ばします。 ・楽しさと喜び、達成感を感じ、得意なことはもっと得意になり、自信に繋がるように支援します。 【例】サーキット運動やバランスボールの使用により、姿勢保持やバランス感覚を身につける。ニュースポーツを体験することで用具に触れ、ルールを理解により掴む・投げる、目標に向かって飛ばせるようになる。音楽に合わせてリズム感を養う等								
	認知・行動	・特性に合わせたスケジュールの作成により、見通しを持って自主的な行動ができるように支援します。 ・他者と接するなかで得意な事、苦手な事を知り、理解し、対応できるための支援をします。 【例】集団（大・中・小）のなかでのチームづくり等を行なううえでの適切な行動形成（ルールや順番を守るように）ができるように、又、時間・日付の学習や天候の理解等								
	言語 コミュニケーション	・自分の思いや相手への伝え方を場面に応じた対応ができるように支援します。 ・他者の思いを理解した行動ができ、ソーシャルスキルの向上を支援します。 【例】コミュニケーションツール（絵カード、文字カード）等も活用し、自発的に行動できるようになり、イベントでの役割りやルールの認識や学習等								
	人間関係 社会性	・役割分担のある遊びやスポーツ体験を通し、ひとり遊び、並行遊び、連合的遊び～生活の組み合わせへの移行を目指します。 【例】見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びを組み合わせる等								
家族支援		・ご家族の気持ちに寄り添い、困っていることがある場合は個別に相談援助を行ないます。 ・ご家族（兄弟支援）も行ないます。 ・安定したアタッチメント形成の支援を行ないます。				移行支援		・シームレスな支援を提供できるよう学校や関係機関との情報共有、連携を図りながら自立に向けた支援や進学等、今後の進路支援を行ないます。		
地域支援・地域連携		・教育機関、行政、関係機関との連携を行ない、地域課題を理解し一人ひとりの改善・解決に繋がるように努めます。 ・地域交流として自施設のアイホーム（小規模多機能施設）と一緒に活動を発展させ、社会の一員としての自覚と自信を持てるような支援を行ないます。				職員の質の向上		・内部研修や外部研修への参加をし、専門的な知識やスキルの向上、支援の質の向上に努めます。		
主な行事等		・季節に応じた行事（お花見体験、クリスマス、プール、工作、おやつづくり等） ・畑体験活動2部制（春～夏、秋～冬） ・お買い物体験（駄菓子屋のんのん） ・清掃奉仕活動（気比神宮）								